

# TOKYO GAS

## 通信

東京ガス通信 株主の皆さまへ

2013年3月期 (2012年4月1日～2013年3月31日)



- P.1  
連結決算ハイライト
- P.2  
株主の皆さまへ
- P.5  
特集  
[チャレンジ2020ビジョン]  
発表からこれまで
- P.9  
東京ガスの株主還元
- P.10  
東京ガスで味わう  
おいしい食卓
- P.11  
連結決算のご報告
- P.13  
株主アンケート結果の  
ご報告
- P.14  
会社情報

# 連結決算ハイライト

## 2013年3月期 業績のポイント

### ■ 売上について

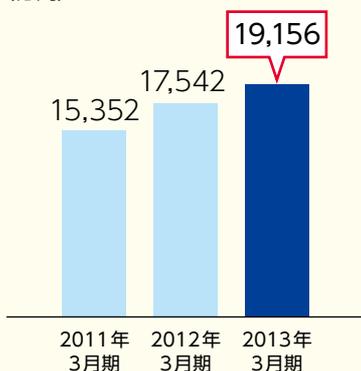
ガス販売量の増加や、原料費調整制度による都市ガス売上高の増加に加え、電力販売が好調だったことを受けて、前期比1,614億円・9.2%増の1兆9,156億円となりました。

### ■ 利益について

円安影響やガス販売量が増加したことによりガス原材料費が増加したことや、電力販売の増加に伴い燃料費が増加したこと等により、営業費用は前期比929億円・5.5%増加しました。この結果、当期純利益は前期比556億円・120.7%増の1,016億円となりました。

▶ その他業績に関する詳しいご説明は、P.11「連結決算のご報告」をご覧ください。

売上高  
(億円)



営業利益  
(億円)



当期純利益  
(億円)



## 2014年3月期 通期業績の見通し

- ガス販売量は、発電用ガス販売の一部を自社使用ガスへ会計変更したこと等により当期比4.0%減少の見通しです。(自社使用ガスを含めた実質使用量は当期比1.8%の増加となります。)
- 売上高、営業利益、経常利益ともに当期を上回り、増収増益の見通しです。

株主の皆さまへ



代表取締役社長 岡本 毅

## 「LNGバリューチェーンの高度化」に向けて 着実に前進していきます。

### ■ 2013年3月期のご報告

わが国では、東日本大震災以降、中長期的なエネルギーのあり方が改めて問われています。また、短期的には原子力発電所の稼働停止に伴い逼迫する電力需給への対応が求められています。こうしたことを背景に、天然ガスへの期待が高まるなか、当社グループは、「エネルギーと未来のために東京ガスグループがめざすこと。～チャレンジ2020ビジョン～」（以下、「チャレンジ2020ビジョン」）の達成に向けて取り組みを着実に進めています。

2013年3月期には、新たに千葉～鹿島ラインが本格稼働し、ガス販売量が前期と比べ1.3%増の153億9千万m<sup>3</sup>となりました。加えて、電力販売やLNG販売も増加したことなどにより、前期に引き続き増収となりました。また、円安の影響及びガス販売量の増加に伴い原材料費が増加したものの、経営効率化を推進し、経常利益は前期比95.0%増の1,474億円となり、増益決算となりました。

## ■ 「チャレンジ2020ビジョン」発表から1年半

LNGの調達から輸送、都市ガスの製造、供給、エネルギーソリューションの提供に至るすべての領域で付加価値を高めていくとともに、事業エリアを拡げていくというのが、「チャレンジ2020ビジョン」で掲げた「LNGバリューチェーンの高度化」です。2011年11月の発表から1年半の間、当社グループは、このテーマに基づく取り組みを一丸となって進めてきました。

## ■ 原料価格の低減と海外事業の拡大

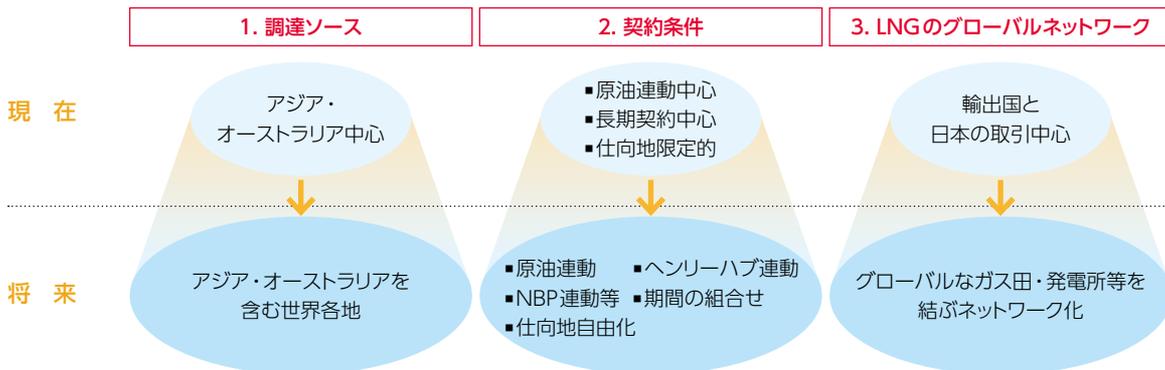
原料調達に関して「調達ソース」「契約条件」「LNGのグローバルネットワーク」の「3つの多様化」により、原料価格の低減と供給安定性の確保に取り組んでいます。従来のアジア・オーストラリアを中心とした調達ソースの拡充を進めるとともに、シェールガスの開発が本格化した米国での取り組みを積極化しています。2013年3月に

は、バーネット堆積盆のシェールガス開発事業への参画により、米国で初めて上流権益を取得しました。また、2013年4月には、当社として初めてのヘンリーハブ連動価格であり、仕向地も自由に選択できる条件で、コーブポイントLNG液化基地プロジェクトからの天然ガス調達について基本合意に至りました。

## ■ 天然ガスの普及・拡大に対応する最適なインフラの整備

天然ガスの需要拡大への対応と供給安定性の向上に向けた最適なインフラの整備を進めています。2012年7月には、茨城県日立市で当社第4のLNG受入基地となる日立LNG基地の建設工事に着手しました。栃木県側から着工している「茨城～栃木幹線」と合わせ、2015年度の稼働開始を目指しています。また、2013年2月には、茨城県の天然ガスインフラの整備・拡充を加速

### 原料調達における「3つの多様化」



## 連結決算実績と計画

	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期 (計画)
売上高 (億円)	17,542	19,156	21,160
営業利益 (億円)	770	1,456	1,610
当期純利益 (億円)	460	1,016	1,010
ガス販売量 (億 m <sup>3</sup> )	152	154	148

して進めることも決定しました。東部ガス(株)と水戸地区向けの新たなパイプラインの建設を共同で進めていくほか、日立LNG基地から鹿島臨海工業地帯に延びる「日立～鹿島幹線(仮称)」についても陸上ルートと海底ルートの調査を開始しました。

### ■ 多様なエネルギーソリューションの提供

電力需給問題の解決に貢献するため、天然ガス火力発電事業の拡大を進め、発電能力を2020年度までに300万～500万kWに増強する計画です。2012年10月には、扇島パワーステーション3号機の建設を決定し、11月には建設に着手しました。

また、環境にやさしく、災害・停電時のエネルギーセキュリティ、電力ピークカットに有効な分散型エネルギーシステム、ガス空調等の普及・拡大も推進しています。2013年4月には、低価格化に加え、機能・耐久性の向上も実現した家庭用燃料電池「エネファーム」の新商品を発売しました。

▶ 「チャレンジ2020ビジョン」の進捗については、P.5「特集：「チャレンジ2020ビジョン」発表からこれまで」をご覧ください。

### ■ 株主還元

当社では、「チャレンジ2020ビジョン」に基づき、創出されるキャッシュ・フローを新たな成長に向けた「LNGバリューチェーンの高度化」に資する投資に振り向けるとともに、株主の皆さまにも経営の成果を配分する方針です。具体的には、配当と自社株取得を合わせて連結当期純利益の

6割程度を株主の皆さまに配分する「総分配性向6割程度」を基本方針としており、2006年度以来、この方針を堅持しております。

2013年3月期の株主還元は、1円増配して年間配当を1株当たり10円とするとともに、360億円の自社株を取得しました。取得分は今後速やかに消却いたします。これにより、総分配性向は60.7%となりました。配当につきましては、これまで同様、安定配当を維持しつつ、成長に合わせた緩やかな増配を実現していく所存です。

▶ 株主還元については、P.9「東京ガスの株主還元」をご覧ください。

株主の皆さまにおかれましては、エネルギーと未来のため、またグループの持続的成長のために邁進する私ども東京ガスグループに、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2013年6月

岡本毅

# 「チャレンジ2020ビジョン」発表からこれまで

東京ガスグループは、「エネルギーと未来のために東京ガスグループがめざすこと。～チャレンジ2020ビジョン～」に基づき、着実な取り組みを進めてきました。

## ▶ これまでの主な取り組み

### 原料価格の低減と海外事業の拡大

原料価格の低減を目指し調達先の多様化を推進するとともに、海外LNGバリューチェーンの構築に向けて取り組んでいます。

2012年1月 **イクシスLNGプロジェクトへの事業参加決定**

オーストラリア西オーストラリア州沖合で開発が進むイクシスLNGプロジェクトの上流権益と液化事業会社の株式を取得し、同プロジェクトに事業参加しました。

2012年6月 **プルートLNGプロジェクトからのLNGの受け入れ開始  
(150万～175万トン/年)**

2012年6月 **ベルギーにおける天然ガス火力発電所 (42.5万kW) の  
株式26.66%を取得**

2012年8月 **マレーシアLNG社との新たなLNG売買契約に関する基本合意書の締結**



プルートLNGプロジェクトからの初めての受け入れ

### 北米での取り組み

2013年2月 **米国プロパン連動価格を指標  
とする米国産LPGの導入を決定**



2013年4月 **米国コーブポイントLNGプロジェクトからの  
LNG調達を決定**

東京ガスのLNG長期契約として初めて米国天然ガス市場価格を指標とするLNG導入を決定しました。2017年に予定されている天然ガス液化プラントの稼働後は、LNGの日本への持ち込みを予定しています。

2013年3月 **東京ガスとして初めて米国シェールガス開発事業の  
権益を取得**

テキサス州バーネット堆積盆におけるシェールガス開発事業の権益25%を取得しました。本事業で生産される天然ガスは、米国内市場に販売する計画です。

## エネルギーの安全・安定的な供給

拡大する天然ガスの需要に安全かつ安定的に対応していくための最適なインフラの整備を進めています。

### 茨城県エリアを中心とした天然ガスインフラの整備



## ニーズに合わせたエネルギーソリューションの提供

エネルギーセキュリティの向上や、電力ピークカットや省エネ・省CO<sub>2</sub>への貢献を目指し、分散型エネルギーシステムや電力事業等の天然ガスをコアとするエネルギーソリューションの提供に取り組んでいます。

2012年10月 扇島パワーステーション3号機の建設着手を決定  
扇島パワーステーション3号機 (40.7万kW) の建設を決定し、2012年11月より建設に着手しています。2015年度内の運転開始を目指しています。

2013年4月 「エネファーム」の新製品の販売を開始  
価格低減、設置性向上、総合効率向上を実現した家庭用燃料電池「エネファーム」の新製品をパナソニック(株)と共同開発し、2013年4月より販売を開始しました。



## 日立LNG基地の建設工事に着手

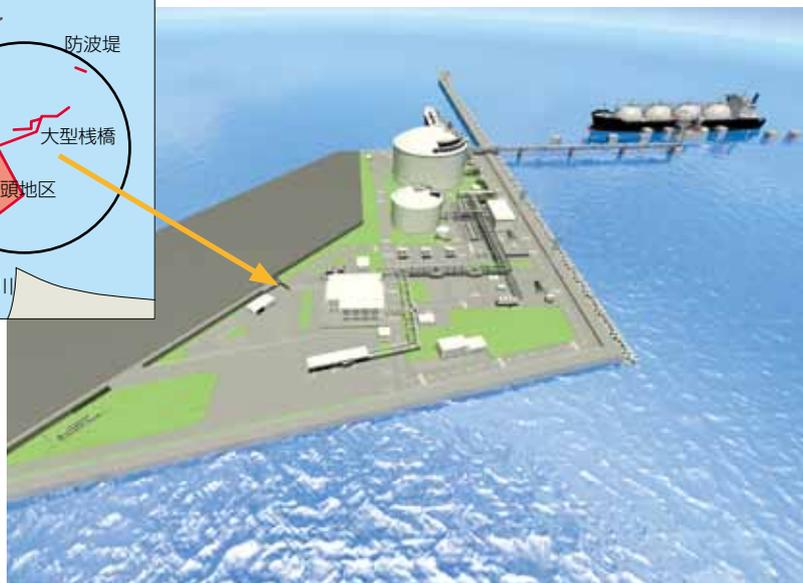
2012年7月、当社は茨城県日立市の日立港区内で、当社第4のLNG受入基地となる日立LNG基地の建設工事に着手しました。

すでに地盤改良工事を完了し、地上式としては世界最大規模の23万klの容量のLNGタンクをはじめ、LPGタンク、製造施設、大型栈橋などの工事を進めています。2012年1月より栃木県側から着手している高圧パイプライン「茨城～栃木幹線」と接続し、2015年度の稼働開始を目指しています。

将来的には、「茨城～栃木幹線」「古河～真岡幹線」「埼東幹線」「日立～鹿島幹線（仮称）」等の新規幹線と稼働中の幹線をループ状に接続し、関東圏全体の供給インフラ全体のさらなる安定性向上を図ることを視野に入れています。



日立LNG基地の建設予定地



完成予想図

## 災害に強く、より安全な供給に向けて

「チャレンジ2020ビジョン」では、想定を超える規模の災害となった東日本大震災を受け、「地震・津波等の災害対策」「停電対策」「保安の確保」に焦点を当て、従来以上に災害に強く、安全なガス供給の実現に向けて対策を強化しています。ここでは、お客さま、株主の皆さまの関心が高い対策について、当社の取り組みをご紹介します。

### Q:大規模な地震や津波が発生した場合、東京ガスの工場は被害を受けないのか?

A: 当社の製造設備は、阪神・淡路大震災クラス(震度7クラス)にも十分耐え得る構造となっています。

また、中央防災会議から公表された東海・東南海・南海

連動地震で想定される津波の高さでは、当社LNG基地の地盤の高さを越えることはありません。

### Q:地震が発生したときの安全性確保は?

A: ガスメーターは、震度5程度以上の地震や異常なガス漏れを感知するとガス供給を自動的に遮断します。地下街や

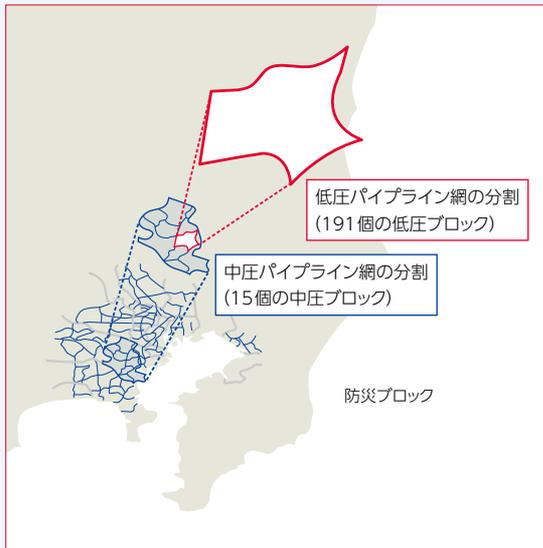
高層ビルなどには、安全確保のため「緊急遮断装置」を設置しており、供給停止により安全性を確保します。

### Q:大規模地震発生後、供給再開までにどの程度の期間を要するのか?

A: 当社は、二次災害の防止と早期のガス復旧を目的として、供給エリアを「ブロック」単位に区切り、一部のエリアで供給が停止しても他のエリアでは供給を継続できる体制を整備しています。供給を停止する範囲を極小化するため、このブロックの細分化を進めており、現在では191ブロックに分割しています。また、耐震性の高い地区への供給継続性向上を目的とする「高耐震ブロック」の形成や、耐震性が高いPE(ポリエチレン)管への入替などさまざまな対策を進めています。このような取り組みを通じ、従来55日としていた復旧までの日数を短縮し、30日を目指しています。



耐久性・耐震性に優れたPE(ポリエチレン)管



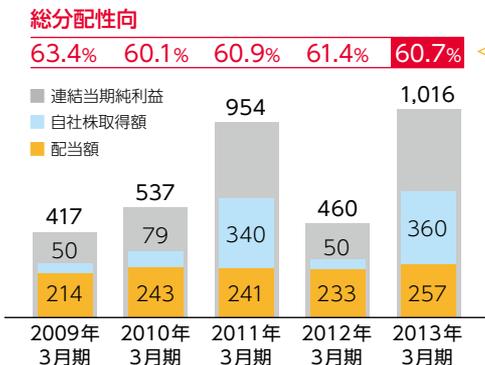
# 東京ガスの株主還元

## 株主還元方針

当社は2007年3月期より、株主還元方針として「総分配性向6割程度」を掲げています。具体的内容は、下記のとおりです。

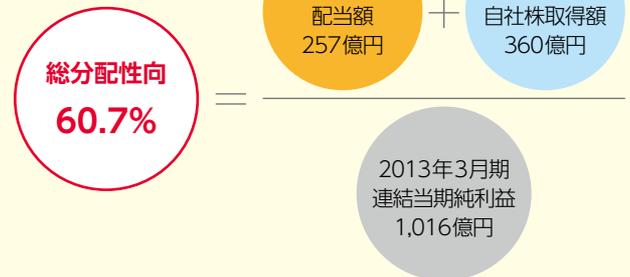
- (1) 連結当期純利益の6割程度を株主還元に充当する
- (2) 株主還元は配当と、消却を前提とした翌期の自社株買いで構成する
- (3) 配当については、安定配当を維持しつつ、成長に合わせて緩やかな増配を実現していく  
今後も、この方針については堅持していく予定です。

## 総分配性向の推移 (億円)



### 総分配性向とは？

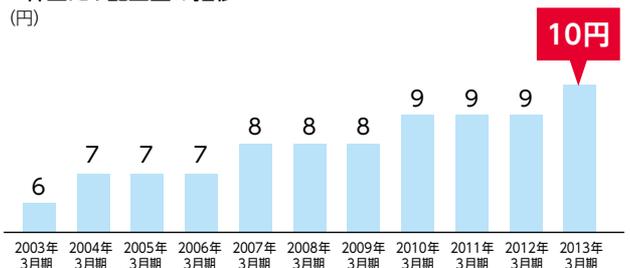
【2013年3月期の場合】



## 2013年3月期 1円の増配を実施

当社は、経営効率化による成果を株主の皆さまに還元するため、2013年3月期の期末配当を増配することといたしました。従来の1株当たり年間9円の配当から1円増配し、年間10円配当といたします。

### 1株当たり配当金の推移 (円)





# 東京ガスで味わう おいしい食卓



両面焼き水なしグリルでジューシーなローストビーフを作ってみませんか？

グリルで  
簡単

## ローストビーフ



### 材料 (1本分)

牛肉 (3cm厚さの塊) .....300g  
 塩 ..... 小さじ1/2  
 黒コショウ (粗びき) ..... 小さじ1/3  
 サラダ油 ..... 小さじ1  
 カイワレ菜 ..... 1/2パック  
 タマネギ ..... 1/4コ  
 ニンジン .....30g

### ワサビマヨネーズ

練りワサビ .....5g  
 マヨネーズ .....40g  
 醤油 ..... 小さじ1/2

### 作り方

- ① 牛肉は室温に戻し、塩、黒コショウをすり込み、サラダ油を塗ってグリルで焼きます。  
**両面焼き水なしグリル / 上・下強火 約8分**  
 焼き上がったらアルミホイルに包んで保温します。
- ② カイワレ菜は根を落として長さを半分に取り、タマネギは薄切り、ニンジンはせん切りにします。水に放します。
- ③ ワサビマヨネーズの材料を合わせます。
- ④ ①の粗熱が取れたら薄切りにし、水気を取った②とともに器に盛りつけ、③を添えます。



エネルギー (総量) 924kcal レシピ:東京ガス「食」情報センター

炎の料理教室 100周年 そして未来へ

## 100th 東京ガストロノミー

2013年、東京ガス料理教室は100周年を迎えました  
 各種料理教室を開催中

詳細はHPへ

<http://www.tg-cooking.jp/>

東京ガス 料理教室

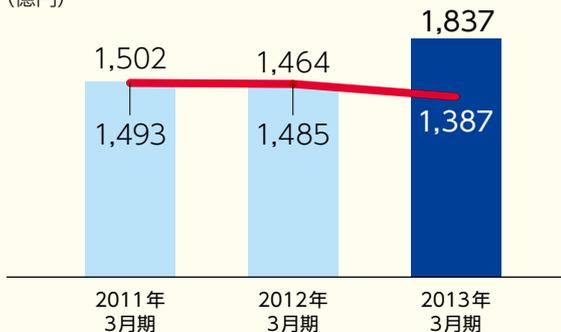
検索



# 連結決算のご報告

## ■ 設備投資 / ■ 減価償却費

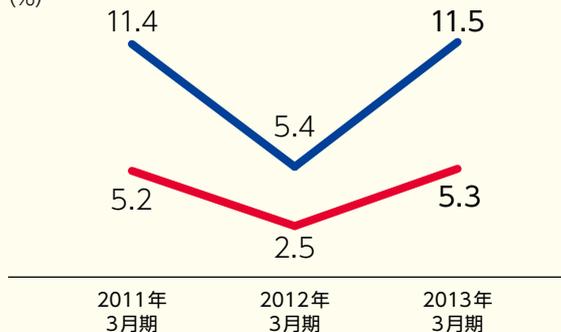
(億円)



海外上流投資を積極的に行った結果、連結子会社設備投資が大きく増加し、当期の設備投資額は、グループ全体で前期比25.5%増加しました。減価償却費は、6.6%の減少となりました。

## ■ ROE / ■ ROA

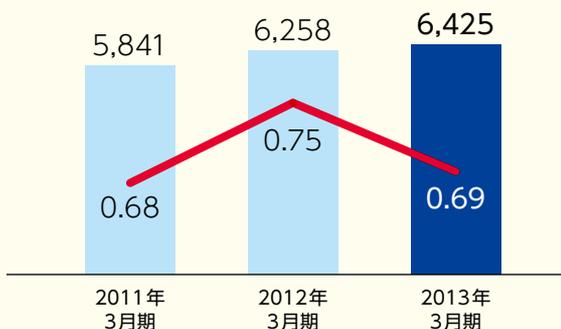
(%)



当期純利益が前期比120.7%増加したことにより、ROEは前期比6.1ポイント増の11.5%、ROAは前期比2.8ポイント増の5.3%に改善しました。

## ■ 有利子負債 / ■ D/Eレシオ

(億円/倍)



長期借入金が増加したこと等により、有利子負債は前期比2.7%増加しました。自己資本が増加し、D/Eレシオは0.06ポイントの減となりました。

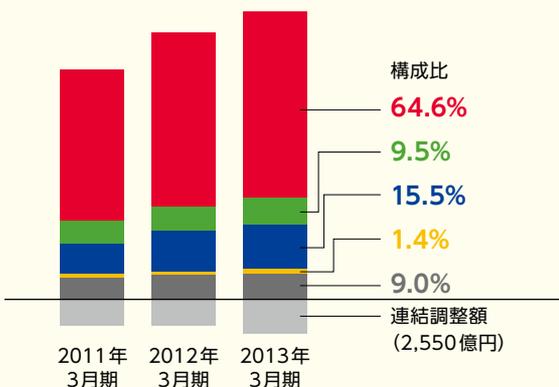
## ■ 自己資本 / ■ 自己資本比率

(億円/%)



当期純利益(1,016億円)の増加が配当金の支払い等を大きく上回ったため、自己資本は10.5%増加し、自己資本比率は1.6ポイント上昇しました。

## セグメント別売上高



### ■ 都市ガス 1兆4,019億円

約1,100万件のお客さまに都市ガスを販売しています。売上高は前期比7.3%増加しました。ガス販売量の現状は右図のとおりです。

### ■ 器具及びガス工事 2,060億円

ガス器具の販売や、お客さまの敷地内のガス工事を行っています。売上高は前期比9.8%増加しました。

### ■ その他エネルギー 3,366億円

電力・LNGの販売やエネルギーサービスを行っています。売上高は前期比11.3%増加しました。

### ■ 不動産 302億円

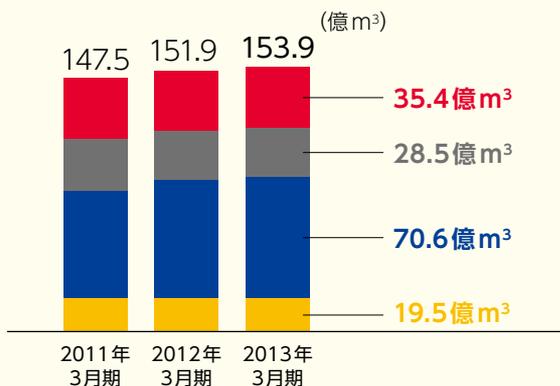
新宿パークタワーをはじめとする、商業・オフィス施設の賃貸・管理等を行っています。売上高は前期比2.0%増加しました。

### ■ その他 1,957億円

建設、情報処理サービス、船舶、海外投資、クレジット・リースなどの事業を行っています。売上高は前期比7.6%増加しました。

## 用途別ガス販売量の実績

当期のガス販売量は、前期比1.3%増の153.9億m<sup>3</sup>となりました。家庭用、業務用需要は気温影響による減少がありましたが、お客さま件数の増加や震災後の落ち込みからの回復がみられました。また工業用需要では千葉～鹿島ライン開通に伴う新規需要や発電用需要が増加したこと等により販売量が増加しました。



### ■ 家庭用 0.1%減

気温影響等による減少がありましたが、お客さま件数の増加等により、ほぼ前年並みとなりました。

### ■ 業務用 0.7%増

気温影響等による減少がありましたが、震災後の落ち込みからの回復があったこと等により、微増となりました。

### ■ 工業用 2.9%増

千葉～鹿島ライン開通に伴う新規需要や発電需要が増加したこと等により増加しました。

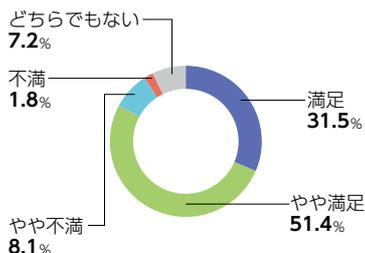
### ■ 他事業者向け供給 0.9%減

供給先事業者の需要が減少したことにより微減となりました。

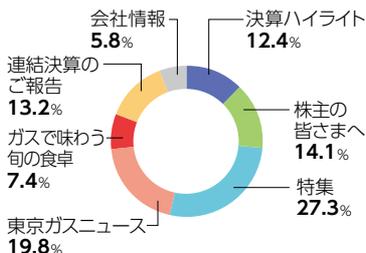
# 株主アンケート結果のご報告

東京ガスでは、今後のIR活動の質をさらに高めていくために、東京ガス通信(2012秋冬号)においてアンケートを実施させていただきました。アンケート結果の一部をご紹介します。

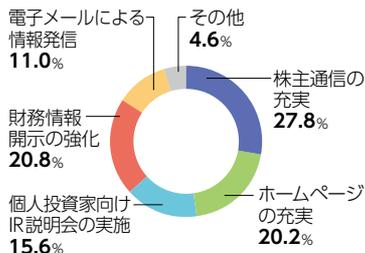
**Q** 東京ガス通信(2012秋冬号)についてどのように評価しますか?



**Q** 東京ガス通信に興味深かった内容は何ですか?



**Q** 当社のIRに何を期待されますか?



## 株主さまからの声



ガスはエネルギーとして重要ですが、安全確保が何よりも重要だと思えます。東京ガスの震災津波対策についてより詳しく知りたいです。



本号P.8にて、「災害に強く、より安全な供給に向けて」と題し、東京ガスの主な取り組みをご紹介します。



最新の東京ガスの情報をもっと知りたいです。



最新のお知らせや資料については、当社ウェブサイトをご活用ください。個人投資家の皆さま向けページもご用意し、当社の事業や魅力をわかりやすく解説しております。

東京ガス 個人投資家

検索

### その他

- 専門用語が多く、わかりにくいことがある。個人株主の目線を意識したよりわかりやすい誌面づくりを心がけてほしい。
- 個人株主を対象とした施設見学会や展示会等を開催してほしい。

株主の皆さまよりいただいた声は、今後のIR活動の参考にさせていただきます。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

# 会社情報

## ■ 会社概要 (2013年3月31日現在)

会社名	東京ガス株式会社
本社所在地	〒105-8527 東京都港区海岸1-5-20
創立	1885 (明治18) 年10月1日
従業員数	7,926人 (連結16,832人) 注：従業員数は常勤の就業員数を記載しており、 出向者および臨時従業員を含みません。
格付け	AA+ (R&I：格付投資情報センター) Aa3 (ムーディーズ) AA- (スタンダード&プアーズ) AAA (JCR：日本格付研究所)
連結子会社	66社
持分法適用関連会社	6社

## ■ 取締役および監査役 (2013年6月27日現在)

取締役会長 鳥原 光憲	取締役 (常務執行役員) 吉野 和雄	社外取締役 佐藤 行雄 富澤 龍一 中垣 喜彦	常勤監査役 福本 学 大谷 勉
代表取締役社長 (社長執行役員) 岡本 毅	幡場 松彦 救仁郷 豊 三神 正博		社外監査役 増田 幸央 森田 嘉彦 大谷 幸二郎
代表取締役 (副社長執行役員) 村木 茂 広瀬 道明			

## ■ 執行役員 (2013年6月27日現在)

常務執行役員 青沼 光一 尾花 秀章 小林 裕明 内田 高史	安岡 省 村関 不三夫 荒井 英昭	執行役員 高橋 秀文 田邊 義博 高松 勝 高橋 道晴 原文比古	傳 清忠 齊藤 隆弘 中島 功 野畑 邦夫 高木 信以智
--	-------------------------	---	--

## ■ 株式の状況 (2013年3月31日現在)

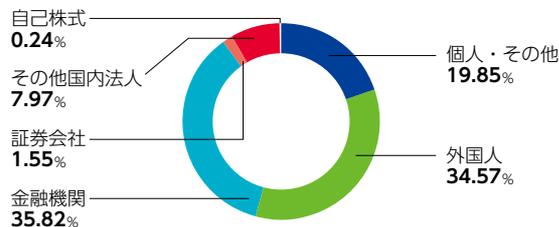
資本金	141,844,398,888円
発行可能株式総数	6,500,000,000株
発行済株式の総数	2,577,919,295株
株主数	133,921名

## ■ 大株主 (2013年3月31日現在)

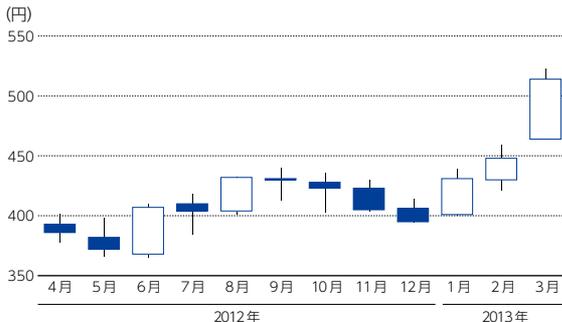
株主名	持株比率 (%)	持株数 (千株)
日本生命保険相互会社	6.34	163,000
第一生命保険株式会社	4.68	120,472
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	4.35	111,782
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3.52	90,499
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	2.09	53,654
東京瓦斯グループ従業員持株会	1.86	47,856
富国生命保険相互会社	1.60	41,103
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託第一生命保険口再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	1.38	35,490
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1.30	33,363
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02	1.21	31,063

注：持株比率は自己株式 (6,123,070株) を控除して計算しております。

## ■ 所有者別株式分布状況 (2013年3月31日現在)



## ■ 株価の推移 (東京証券取引所)



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
定時株主総会	毎年6月	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日	郵便物送付先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
証券コード	9531	

### 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際に同封している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行われる際には、添付資料としてご利用いただけますので大切に保管してください。ただし、株式数比例配分方式で配当をお受け取りの株主さまにつきましては、源泉徴収税額の計算が証券会社等で行われるため、確定申告時の添付資料に関するお問い合わせは、お取引の証券会社をお願いいたします。

## 株式に関するお問い合わせ先

株式に関する各種手続は、お取引の証券会社でのお取扱いとなります。

なお、保有株式が特別口座で管理されている場合は、特別口座管理機関の三井住友信託銀行株式会社でのお取扱いとなります。  
[TEL 0120-782-031 (受付時間：平日9:00-17:00)]

## 東京ガス株式会社

東京ガス通信に関するお問い合わせ

TEL 03-5400-3888  
財務部IRグループ

株式その他のお問い合わせ

TEL 03-5400-3894  
総務部総務グループ

### 今号の表紙について



イクシスLNGプロジェクト  
オーストラリア西オーストラリア州沖合のイクシスガス・コンデンセート田から生産される天然ガスのプロジェクトで、2016年末生産開始予定。東京ガスも1.575%の権益を保有しており、同プロジェクトからのLNG購入についても長期売買契約を締結している。

表紙は液化プラントの完成予想図で、イラストに重ねた右下が赤いT字は、東京ガスのロゴマークをイメージしている。



この冊子は、社内の使用済み文書、管理された植林材および再・未利用材を原料とした「東京ガス循環再生紙」と、有機溶剤の少ない植物油インキを使用して印刷しています。